

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスユニオンクラブ			
○保護者評価実施期間	令和6年 12 月 1日		～	令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		～	令和 6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 3月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・桶川市との提携によりサンアリーナの年間使用が許可されているので天候に左右されず曜日ごとに違った運動プログラム(トランポリン・フットサル)の実現が可能である。	・事業所内のプレイルームにおいては、おもちゃ・ボードゲーム・トランプ等の遊びを通して他児とのコミュニケーションを繋ぐ支援や、絵画制作で表現する喜びを体験出来、体育館での運動療育と合わせ5領域をふまえた発達の支援を行っている。	・培ったコミュニケーションを「集団スポーツでのルールを守る」「仲間と力を合わせる」への支援に繋げていく。また出来なかったことが少しずつ出来るようになる喜びや成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育むような言葉掛けをしていく。
2	・現状やニーズを丁寧にお伺いし、個別支援計画の作成に当たっては児童支援員や保育士の経験や目線も十分に加味していること。	・色々なタイプの職員が在動しているので、その子その子の思いを察知し受け止め、素早く全体に周知する体制を整えている。	・情報を共有し、より良い支援に生かしていく。
3	・子ども達同士が仲が良い。出来ないことを手伝ったり泣いていると心配したりが自然に行われている。	・毎日顔を合わせる子もいれば週に何回かの子もいる中で、職員が間に入り一緒に遊んだり繋がりが持てるような活動を意識して行っている。	・「一人で好きなことをじっくり」「みんなで楽しくわいわい」など、ひとりひとりのその日の状態に応じてメリハリを付けた関わり方をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や参観の計画を定期的に立てなかったため、活動を見ていただく機会が少なかった。	・保護者に対し、参観はいつでも可能であることの周知が足りなかった。	・来年度は年間計画の中に活動の披露を通しての保護者会や茶話会を組み入れ、日々の療育風景を見ていただくようにする。
2	・サンアリーナが使用できる良い点に付随して、ユニオンからの移動時に慌ただしくなる。	・移動車への荷物の積み忘れが起こる場合がある。	・積み忘れ防止へ、職員間の声掛けを更に強化していく。
3			